

公益社会法人



宮城県栄養士会

ニュース 42号

令和3年1月31日発行

(公社) 宮城県栄養士会
仙台市青葉区上杉3-3-16
SAビル2階

TEL (022) 265-8007
FAX (022) 361-5912

令和2年度 生涯教育・災害・糖尿病等臨床研修会 報告

今年度は、コロナ禍により様々な事業が中止または延期となっている状況です。宮城県栄養士会においても、主要な事業が中止になっている中、今回初めてオンラインによる研修会を開催いたしました。

12月6日に行われた令和2年度生涯学習・災害・糖尿病等倫修研修会では、栄養士会事務所に講師の方をお招きし、そこからYouTubeにて配信する形をとりました。(情報の不要な拡散を防ぐため、事前にお申し込みのあった方にURLを送り、研修日を含めた3日間のみ視聴できる限定配信としました)

①「被災地における支援活動」は、DVD視聴による研修でした。高知県立大学講師 島田郁子氏による講話では、発災時にJDA-DATが被災地に派遣されるまでの流れについての説明や、被災地の受援体制に関するお話がありました。災害時には、様々な医療・保健・福祉に関する団体が支援を行うため、被災地では、全体の把握や先の見通しが持てない、調整が取れないといった課題が見られます。支援・受援の状況把握ととりまとめを確実にできるかどうかを鍵となるため、平時からの組織づくりや、行政機関同士の良好な関係づくりが重要となります。また、特殊栄養食品ステーションの設置が助けになったという声が多く寄せられており、栄養士会に対する期待値の高さがうかがえました。

②「生活習慣病と食事 Na/K 比関連研究の進捗」では、東北メディカルメガバンク機構 地域住民コホート室の寶澤篤氏より講話をいただきました。講話では、健康寿命の維持のためには、がん予防、心疾患予防、脳卒中予防、認知症対策、骨・運動器疾患対策が必要であること、生活習慣は血圧と密接に関連しており、「塩」と「野菜」対策が重要とのお話がありました。そして、この塩分と野菜摂取のバランスを表す指標として注目されているナトカリ比を用いた取り組み(登米市の特定健康診査にて尿ナトカリ比測定を導入したこと)についてご紹介いただきました。特定健康診査会場にて測定を行い、その場ですぐ結果が出ることで、受診者が自身の食生活を振り返るきっかけになるなど意識付けにつながることで、保健指導が効果的に行えるなど、受診者・指導者ともに意識が高まる相乗効果もみられるとのお話がありました。

③「食で支える在宅訪問と栄養管理の実際」では、やまと在宅診療所登米 在宅訪問管理栄養士の和田不由美氏より講話をいただきました。やまと在宅診療所の「食べるチーム」は、医師、看護師、管理栄養士による在宅療養者の経口摂取を目指す取り組みで、嚥下、栄養に課題がある患者に対し、チームコンサルできる体制を整え、必要な口腔アセスメント・口腔ケアを行うものです。安全な経口摂取の実現を目指し、介護ヘルパーを対象とした調理実習や、歯科医院と連携した嚥下内視鏡検査なども行っているそうです。また、訪問栄養食事指導の実際については、症例紹介も交えてお話があり、食事を準備する息子さんの負担にならないようコンビニの利用や電子レンジを使った時短メニュー等の提案をしていました。食事が変わっていくにつれ、本人にも前向きな姿勢がみられるようになり、食の充実がQOLの向上につながることで実感できるお話でした。

令和2年度 人材育成研修会・症例検討会 報告（その2）

10月11日(日)に行われた人材育成研修会・症例検討会は、仙台市太白区秋保総合支所保健福祉課の菊地美保氏を講師に迎え、宮城県栄養士会3階会議室において開催されました。

はじめに、介護予防に関する国の動向や訪問栄養指導の実態、高齢者の低栄養について菊地氏から講義がありました。地域包括ケアシステムとは、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制のことをいいます。また、介護予防のための地域ケア会議を行い、地域包括ケアシステムの実現を図っています。実際にフレイル予防として、食事や運動機能等について記載があるチェックリストを用いてスクリーニングをかけ、要支援1、2の方にむけて訪問型サービスを利用して栄養改善を図っています。

症例検討では、訪問型サービスを利用した栄養改善を主とした2症例について検討が行われました。どちらもBMIが15.0以下で食事量(特にたんぱく質)が少ないものでした。栄養指導を進めていく中で、ご本人やご家族が今後なりたいイメージについても聞き取りをしていくことで、前向きに取り組むことができ、体重増加や栄養状態の改善につながっていました。管理栄養士は、対象者の「より豊かに生きるための土台」である栄養・食事が適切に供給できるよう、対象者に寄り添い、支えていくことが大切です。そのためには、栄養指導の際に対象者と信頼関係を築き上げていくことが重要であることを再認識した研修会でした。



今年度の人材育成研修会・症例検討会は12月をもって終了しています。次年度も会員の皆様のスキルアップになるような企画を考えてまいりたいと思います。

表彰おめでとうございます！

令和2年度会長表彰として、8名の方が表彰を受けました。おめでとうございます。

長橋 雅人様 (研究教育)

内藤 陽子様 (医療)

山田 富美子様 (地域活動)

北島 裕美様 (医療)

菊地 香保里様 (医療)

安達 千恵子様 (医療)

佐々木 美津江様 (医療)

渡部 順子様 (公衆衛生)

《おねがい》

今回同封しているお知らせのとおり、**令和3年度の会費の納入をお願いします。**
今年度分が未納の方は、今年度分を納入してから3年度分を納入ください。